

地方創生推進交付金 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

参考資料

平成30年7月24日

DMOによる広域観光連携

交付金
1

事業の概要

平成29年4月3日DMO法人「一般社団法人 石巻圏観光推進機構」設立

- 観光データ収集・分析事業
 - ・JTB総研へ、観光戦略・施策立案に向けた調査業務委託を実施
 - 観光戦略、観光推進に向けたキャッチコピーの策定
- 地域観光コンテンツ開発・コーディネート事業
 - ・地域コンテンツを活用し、6商品の造成・販売、観光コンシェルジュ業務開始
 - ・プレミアムモニターツアーの実施
 - ・牡鹿地区、金華山、奥松島等を素材としたプレミアムモニターツアーを実施し、石巻圏観光推進機構の周知と、コンテンツ情報、磨き上げの方向性を把握
 - ・民泊業務導入に向けた準備・検討
 - ツール・ド・東北開催中、Yahoo!において実施していた民泊受入業務を石巻圏観光推進機構が引き継ぐことにより、通年型民泊導入への取り組みを行った。
 - 簡易宿泊所登録による民泊家庭 3件成立
- 情報発信事業
 - ・HP「海街さんぽ」開設、SNSアカウント取得等による情報発信
- 教育旅行誘致事業
 - ・教育旅行・体験学習説明会参加、専門誌への広告掲載
 - ・石巻圏域の教育旅行コンテンツ情報を掲載した「アクティブラーニングパンフレット」の刷新
- インバウンド対応事業
 - ・モニターツアー実施、プロモーション動画の作成
 - ・外国人ガイド育成事業
- サイクルツーリズム推進
 - ・レンタサイクル運用開始、サイクルステーション設置による受入体制整備
- ツール・ド・東北 牡鹿半島チャレンジグループライド開催概要
 - ・大会参加者：180人 総延長：約100km
 - ・開催年月日：平成29年9月16日（土）
 - ・内 容：牡鹿御番所公園、番屋、荻浜支所跡地、サン・ファン・パウティスタパーク内にライダーの休憩・給水・軽食ポイントであるエイドステーションを設置し、地域の食を提供するなどのおもてなし対応
 - ・そ の 他：大会参加者アンケートを実施した結果、満足度85.7%、次回参加意向94.3%と高い評価

参考となる図面及び事業のイメージ図等

石巻圏
観光推進機構
観光戦略



HP「海街さんぽ」



サイクルステーション向け
パンフレット



事業費実績

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費実績 単位：円	2,965万 6千	3,070万 7千	—	—	—

平成29年度の取組・成果

- アクティブラーニングパンフレット作成：5,000部
- サイクルツーリズム推進
 - レンタサイクル実施箇所：3か所（20台）
 - いしのまき元気いちば：6台、サン・ファン・パウティスタパーク：10台、北上観光物産交流館：4台
 - サイクルステーション設置数：22件（うち東松島市4件）
- ツール・ド・東北 牡鹿半島チャレンジグループライド開催
 - ・大会参加者：180人 総延長：約100km
 - ・開催年月日：平成29年9月16日（土）

事業の概要

1 スマートな地域資源活用創造（プロデュース）事業

本市への移住希望者の移住支援、移住者の住宅支援及び移住者を活用した人材育成支援等を行い、移住定住に関する事業を総合的に推進する。

<移住コンシェルジュ>

移住相談窓口や移住者向けのイベント企画

<地域活躍支援事業>

①石巻チャレンジワーキング事業
起業や就業に向けた知識習得や必要な支援を実施

②石巻版松下村塾

著名な外部講師等による研修会の開催、起業に向けたプログラムを実施

<地域交流・定着支援事業>

移住して間もない者や中期滞在者を対象に、地元住民との交流の機会を提供し、定住に移行する支援を実施

<空き家等活用・移住促進事業>

本市のITインフラと本市に所在する空き家等の有効活用を図るため、空き家等の改修を実施

2 地域活躍支援推進事業

移住・定住に関する情報を強かに発信する。

3 ローカルベンチャー関連事業

10自治体広域連携により、推進協議会を設立し、各自治体が持っているノウハウや人材の活用、起業型人材育成等を支援する。

・メディア・人材マッチング

専用求人サイトの掲載、地方での起業を考えている移住希望者のマッチングイベント

・起業家型人材育成

起業型人材育成基礎講座、ローカルベンチャーラボ（少数精鋭型・テーマ型の私塾）

・事業成長支援

自治体合同合宿（協議会賛同自治体職員研修）、コーディネーター研修（ローカル事務局を対象としたスキルアップ研修）

4 ローカルベンチャー推進協議会ローカル事務局設置事業

・ローカルベンチャー関連事業の推進を円滑に図れるようローカル事務局を設置

5 ローカルベンチャー関係講演会事業

・本市で行う移住交流事業及びローカルベンチャー関連事業を市内外に周知することを目的に、著名人による講演会を実施

事業費実績

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費実績 単位：円	5,202万	5,993万 1千	—	—	—

参考となる図面及び事業のイメージ図等

スマートな地域資源活用創造事業

- 移住コンシェルジュ
- 地域活躍支援事業
 - ・石巻チャレンジワーキング
 - ・石巻版松下村塾
- 地域交流・定着支援事業
- 空き家活用事業

地域活躍支援推進事業

- 移住定住総合情報発信
- 総合調整管理業務

連携

ローカルベンチャー関連事業

- 共通プログラム
 - ・情報発信・人材マッチング支援事業
参画自治体と都市部の人材をマッチングする。
 - ・起業家型人材育成事業
単一自治体では獲得が困難な優秀な起業志望者を集める。
 - ・事業成長支援事業
地域での起業家が5年10年と育っていくための仕組みを協働でつくる。

ローカルベンチャー推進協議会ローカル事務局設置事業

ローカルベンチャー関係講演会事業

平成29年度の取組・成果

【取組】

- ・ローカルベンチャー推進協議会に参画することで、起業支援のノウハウの習得や都内で開催される起業希望者向けのイベントでPRを行い人材誘致を図った。
- ・ローカルベンチャー関連事業の共通プログラムを活用し、起業における知識や技能の習得のほか、参加者の意識向上をさせ、人材育成を図った。
- ・新規事業を考えている者に対して、事業プランの相談やブラッシュアップ等を行い、事業実現に向けての支援を行った。
- ・起業志望者を本市に招いて、現地で活躍されている起業家の視察や講義等を行うことにより、本市で起業することに対する意識向上を図り人材誘致を行った。

【成果】

- ①ローカルベンチャーによる売上規模 2,720万円
- ②新規事業創出数 7件
- ③起業型・経営型人材の地域へのマッチング数 6人

事業の概要

地域包括ケアの推進に必要な医療・介護分野の専門職の人材確保及び定住促進を図るため、市内に居住し、かつ、市内の事業所に就職した者が返還する奨学金の一部を助成。

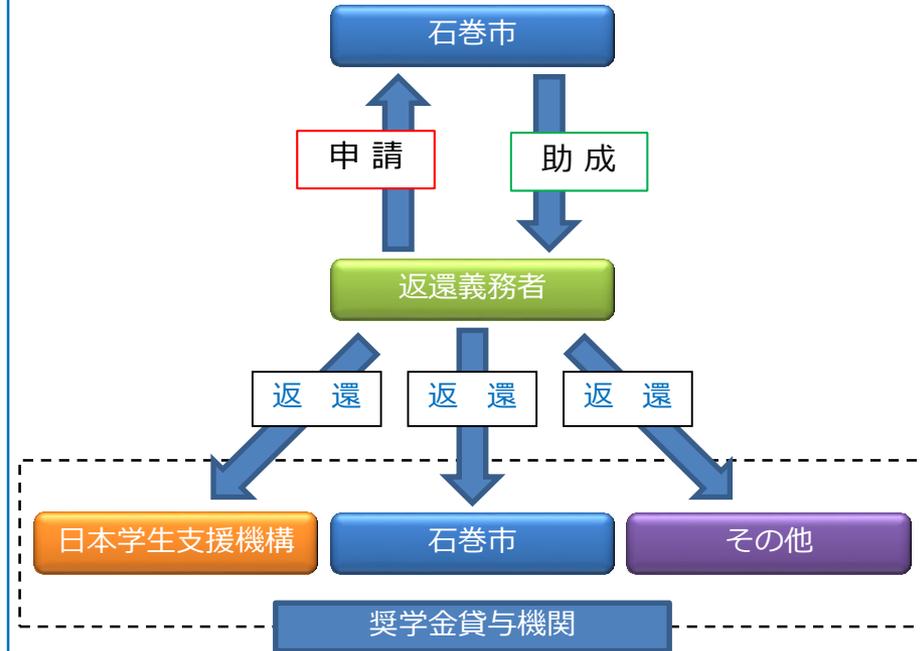
*助成金額：年度内に返還した奨学金の額（上限額20万円）

*助成期間：最大3年間

*助成対象者：次の要件をすべて満たす者

- ①市内に住所を有し、年度末まで継続して市内に居住する者
- ②奨学金の貸与を受けて大学、短大、専門学校に進学した者
- ③**看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士**の資格を有する者
- ④H28年4月1日以降に、市内に事業所を有する事業主に正規雇用され、市内の事業所において保有資格に基づく業務に従事する者で、年度末まで継続して当該事業所に勤務する者（国及び地方公共団体の職員を除く。）
- ⑤月賦、半年賦、年賦で奨学金の返還を行っている者、又は年度内に月賦、半年賦、年賦で奨学金の返還を開始する者
- ⑥奨学金の返還に滞納がない者
- ⑦市税に滞納がない者
- ⑧暴力団員等でない者

参考となる図面及び事業のイメージ図等



事業費実績

	H27	H28	H29	H30	H31
事業費実績 単位：円	—	214万 3千	671万 2千	—	—

平成29年度の取組・成果

- 助成対象に保育士、助産師を追加
- 60人（前年度からの継続19人、新規41人）から申請があり、最終的に55人に助成金を交付。
 - 【内訳】 看護師26人、保健師1人、理学療法士7人、作業療法士5人、言語聴覚士1人、社会福祉士1人、介護福祉士3人、精神保健福祉士1人、保育士10人

事業の概要

【概要】

石巻市においては、起業・経営相談会の実施のほか、各団体においてそれぞれが創業支援に向けた取組をしてきたが、本計画により、この取組を強化しつつ、連携体制を構築することで、22名以上の創業の実現を目指す。

具体的には、平成26年～31年にかけて、創業支援事業者が連携し、創業希望者に対して、窓口相談、創業開成塾等による支援の他、宮城県の地域起業・新事業活動拠点支援事業等を活用し、コワーキングスペースの設置など、創業に向けたスタートアップ支援等も実施していく。

【特徴】

ビジネスモデルの構築や資金調達など、創業に必要な要素に応じ、関係機関の強みを生かした適切な創業支援に取り組む。

1. 地域資源の活用（6次産業化・地産地消推進センター）
2. ターゲット市場の見つけ方（石巻産業創造㈱）
3. ビジネスモデルの構築（各金融機関）
4. 売れる商品・サービスの作り方（石巻産業創造㈱）
5. 適正な価格の設定と効果的な販売方法（石巻産業創造㈱、各経済団体）
6. 資金調達（各金融機関、石巻市）
7. 事業計画書の作成（NPO法人等、各金融機関、各経済団体）
8. 許認可手続き（石巻市、石巻産業創造㈱）
9. 創業後のフォロー（石巻市、石巻産業創造㈱、NPO法人等、各金融機関、各経済団体）

参考となる図面及び事業のイメージ図等

<全体像>

※下線は特定創業支援事業

石巻産業創造㈱

- ・情報提供・ワンストップ相談窓口(2-1)
- ・創業開成塾を実施(2-2)
- ・なでしこ開成塾を実施(2-2)

石巻信用金庫

- ・いしのまきイノベーション企業家塾を実施(2-3)
- ・申請書類作成支援(2-6)
- ・巡回によるフォローアップ(2-6)

石巻復興支援ネットワーク

- ・コワーキングスペース運営(2-5)
- ・創業支援事業(2-5)
- ・交流促進事業実施

石巻市

- ・相談窓口の設置(1-1)
- ・創業支援事業補助(1-1)

㈱七十七銀行
㈱仙台銀行
石巻商工信用組合
㈱日本政策金融公庫
石巻商工会議所
石巻かほく商工会
河南桃生商工会
石巻市牡鹿福井商工会
イトナブ石巻

- ・申請書類作成支援(2-6)
- ・巡回によるフォローアップ(2-6)

連携

石巻専修大学

・事業アドバイス

宮城県

支援

連携

創業希望者、創業者

事業費実績

	H27	H28	H29	H30	H31
創業支援補助事業 単位：円	1,288万2千	2,155万8千	894万7千	—	—
相談事業 単位：円	87万6千	86万1千	177万2千	—	—

平成29年度の取組・成果

市創業支援事業者連携会議を年10回定期的に開催、計画に掲げる事業の企画・実施及び創業に関する情報共有等の支援に関する協議を実施。また、市創業支援補助金の審査、第3回石巻市創業ビジネスグランプリ開催から申込みの審査及び表彰式までに至る各種創業支援事業を実施することで、目標値を上回る成果となった。

事業の概要

東日本大震災により被災した「石巻文化センター」及び「石巻市民会館」の代替施設として市民ギャラリーとしての生涯学習機能と石巻の歴史・文化の展示を行う博物館機能を備えた複合文化施設を整備するもの。

文化芸術の発信・創造・継承の拠点として、近隣の市町と連携した様々な企画を戦略的に実現させ、リピーター獲得やイベント開催時の集客力を向上することで継続的な人の流れを呼び込み交流人口の拡大を目指す。

平成28年度 地質調査、基本設計
 平成29年度 実施設計、博物館機能に係る展示実施設計
 平成30年度 建設工事
 平成31年度 建設工事、博物館機能に係る展示工事
 平成32年度 完成、オープン

<施設規模・機能> (基本計画による)

建築延床面積：13,280㎡
 大ホール：1,300席・小ホール：300席・市民ギャラリー・
 展示・収蔵庫等

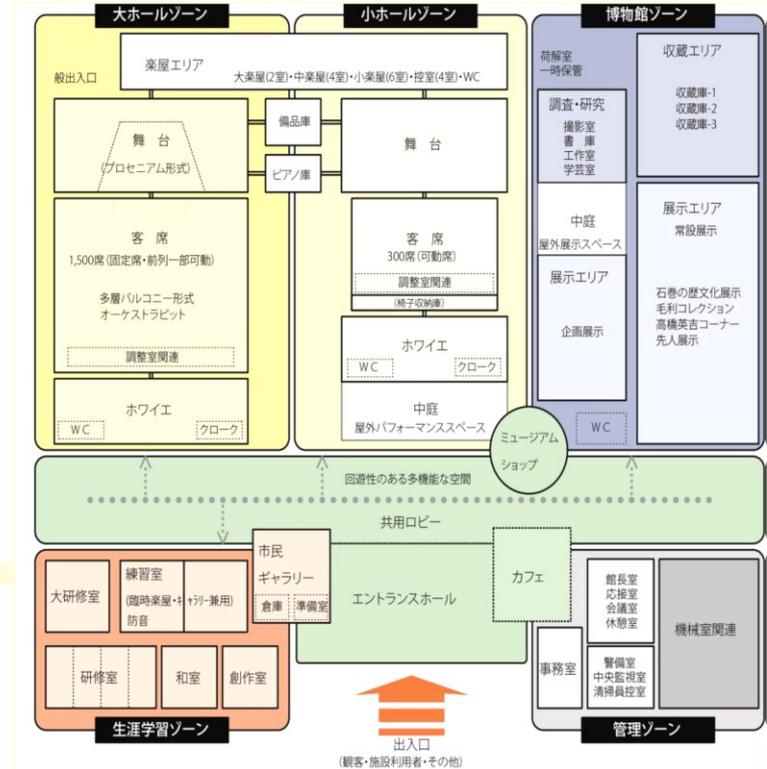
平成29年度の取組・成果

- 基本設計・展示基本設計の完成後、実施設計・展示実施設計に着手
- 市民懇談会による先進地視察の実施等を行い管理運営方法を検討

事業費実績

	H28	H29	H30	H31	H32
事業費実績 単位：円	5,248万4千	1億375万	—	—	—

参考となる図面及び事業のイメージ図等



イメージパース図

